

園の自己評価

社会福祉法人 花畑福祉会

令和7年度	つくばこどもの森保育園	1	2	3	副園長	理事長
		2	12	26		
評価日						
R8年3月31日						

「目的」
今年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の計画に活かすものとする。

「評価方法」
3月クラスリーダー会議に於いて、園の自己評価を実施する→園毎の成果と課題を明らかにし、管理者会議にて報告→園の全職員に自園及び全国の評価結果をフィードバックする→次年度の事業所計画に反映させる。

		3段階評価 1 (できていない) 2 (努力必要) 3 (できている)	評価・改善案
経営について	1	地域に必要とされる保育園である。	1・2・3 ・地域貢献活動など取り入れる
	2	各管理者が責務を果たしており、法人組織・施設の組織体制が有効に機能している。	1・2・3 ・管理者の役割を明確化し職員指導や把握に務める
	3	法人理念・経営理念・保育園理念に沿った運営ができている。	1・2・3 ・理念を理解し業務を遂行していく
	4	評価制度や目標達成シート、職員テーマを資質向上に活かしている。	1・2・3 ・管理者毎に職員面談を行い意識を高め資質向上に務める
	5	年度末に保護者運営アンケートを実施し、保護者へのフィードバックと共に、次年度の運営に反映させている。	1・2・3 ・年に一度、利用者アンケートを実施し意見を取り入れていく
	6	職員の処遇や労働状況が整い、意欲を持って働ける職場になっている。	1・2・3 ・職員の主体性を尊重した職場環境の構築
	7	個人情報 を適正に取り扱っている。	1・2・3 ・厳重に保管している
	8	能率的・合理的・明文化された組織になっている。	1・2・3 ・各分野の委員会組織を取り決める
	9	公文書の授受・発送・処理を取り扱い、保管や処理は慎重かつ適正に行っている。	1・2・3 ・施設出来る場所へ厳重に保管
	10	各種会計処理を適切に取り扱っている。	1・2・3 ・法人管理部が管理している
	11	職員は就業規則や保育の手引きなどの規則を遵守し業務にあたっている。	1・2・3 ・年度初めに全職員で研修を行う ・倫理規定、人権セルフチェック等
	12	各種会議は効率的・効果的に進めている。	1・2・3 ・全体会議や部分会議等を行う
	13	研修計画や研修制度を充実させ、その成果を日々の保育に活かしている。	1・2・3 ・園内、園外研修を計画的に行う
	14	職員相互が互いに高め合う関係を築いている。	1・2・3 ・園内研修で情報交換を行う
	15	SNSなどの情報発信手段についての知識に備え、適切に活用している。	1・2・3 ・ホームページ、お便り、連絡帳機能、登降園
保育について	16	保育所保育方針を遵守した保育計画の立案、並びに保育がされている。	1・2・3 ・クラス毎、計画的に取り組んでいる
	17	計画は子どもの実態、地域の状況、社会情勢などを踏まえた内容になっている。	1・2・3 ・年度毎に見直しや反省を行い次年度に反映させる
	18	保育内容・保育方針・年齢ごとのねらい、保育テーマが全職員に共通理解され、展開されている。	1・2・3 ・以上児、未満児毎に内容をすり合わせ共通理解を深める

園の自己評価

社会福祉法人 花畑福祉会

保育について	19	子どもの人権を尊重した言葉かけや対応がなされ、子どもの最善の利益（子ども第一主義）で保育が行われている。	1・2・3 ・3期に分けて自己評価を行い自己研鑽に努める
	20	子供の発達のプロセスや発達心理学を理解しているスタッフにより、適切な援助がなされている。	1・2・3 ・保育経験がある保育士による適切な援助（コーチング、リスティング）
	21	担当と子どもの間には信頼関係が成り立っている。	1・2・3 ・個別対応を丁寧に行う
	22	児童や家庭についての必要な記録は洩れなく記載している。	1・2・3 ・児童票に個人記録をファイリング
	23	保健的な環境の中で保育がされている。	1・2・3 ・保健計画や避難訓練計画に基づき行っている
	24	保健・安全に関する指導や訓練を通して、よい習慣が身についている。	1・2・3 ・月齢や季節に応じて活動しやすい環境を常に取り入れている
	25	子どもにとってよりよい環境を常に作り出している。	1・2・3 ・日案、月案の反省を活かしていく
	26	日々の振り返りを基に保育（業務）の改善に努めている。	1・2・3 ・行事内容に目的やねらいを立てている
	27	行事を通して何を育てようとしているかを明確にし、子どもの主体性を助長する援助ができている。	1・2・3 ・早延長保育など、異年齢児合同
保護者について	28	異年齢の触れ合いの大切さを理解し、関わりの場を意識的に取り入れている。	1・2・3 ・保幼小連絡協議会での交流会
	29	幼児は、施設間交流や小学校との連携の機会を設け、成長を促している。	1・2・3 ・小中学生の訪問や職場体験での交流
	30	保護者への説明は丁寧に行い、不安や不信感を生じさせていない。	1・2・3 ・自己判断せずに状況に応じた対応を行う ・個人面談を行い家庭との連携を深める
環境	31	保護者との意思疎通が良好で、子どもの発達に関する共通理解や育児指導、家庭支援を行えている。	1・2・3
	32	保護者を対象にした子育ての啓発の機会を設けている。	1・2・3
地域との連携	33	園内外の点検を定期的に行い、園内外を美しく保ち、衛生的、整頓、情緒的な保育環境を作れている。	1・2・3 ・毎日、毎月の安全点検を実施
	34	不審者対応に常に周到な配慮をしている。	1・2・3 ・防犯訓練の実施 防災対策
地域との連携	35	保育園の様子や、園が行っている保育事業などを地域に情報発信できている。	1・2・3 ・ホームページを月2回更新し情報を公開している
	36	小学校・医療機関・専門機関・公共機関・幼稚園などとの交流や情報を共有している。	1・2・3 ・保幼小連絡協議会の研修を通じて連続性を意識した活動の推進を行う
	37	地域の人材活用、地域の行事などに積極的に参加し、文化や生活に触れている。	1・2・3 ・地域行事の実施なし
	38	保育園を地域の資源として開放し、人々が気軽に訪れる場所になっている。	1・2・3 ・園庭開放、みんなの食堂の実施
地域との連携	39	第三者評価を導入し、施設運営に反映している。	1・2・3 ・5年に一度実施
	40	地域や保護者のご意見を施設運営に反映している。	1・2・3 ・保護者アンケート実施、意見ボックスの設置